

アルジェリア政治・経済月例報告
(2016年10月)

平成28年11月
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● サアダニ民族解放戦線（FLN）党首辞任

22日、サアダニFLN党首はアルジェで開催されたFLN党中央委員会にて辞任を発表した。夏に長い間公に姿を見せなかったのは健康問題が理由であるとした。新党首にはウルドゥ・アッベス氏が就任し、2017年に予定されている議会選挙に向けてより一層の動員を呼びかけた。他方、サアダニ前党首はブーテフリカ大統領への変わらぬ支持を繰り返し述べた。ウルドゥ・アッベス新党首は、アルジェリア西部トレムセン県出身で、FLN政治局の中で最も高齢である（1934年生まれの82歳）。1999年から2012年にかけてブーテフリカ大統領の下で保健大臣及び国民連帯大臣を務め、ブーテフリカ大統領の最も近い側近の一人であり、同大統領に忠実な人物の一人であるとされている。

● ブーテフリカ大統領のアルジェ・オペラ除幕式への参加

20日、ブーテフリカ大統領は、ベンサラ国民評議会議長、ウルドゥ・ケリファ国民議会議長、セラル首相等の同席の下、アルジェ・オペラの除幕式に参加した。ブエレム・ベサイエ（7月28日に逝去した元外交官、前大統領特別顧問・特使（国務大臣））と命名されたアルジェ・オペラは耽美主義的かつ近代的な建築作品であり、2006年にブーテフリカ大統領が公式訪中した際に決定された3000万ユーロに上る中国からの無償資金協力によって建設されたものである。

● ブーテフリカ大統領のグランド・モスク視察

30日、ブーテフリカ大統領は建設中のグランド・モスクを視察した。同モスクは、中国建築工程総公司（CSCEC）が受注し、建設も90%が完了しており、最終段階にさしかかっている。建設が完了すれば、同モスクは信者12万人を収容することができることとなり、マッカの「聖モスク」及びマディーナの「預言者のモスク」に次いで世界で三番目、アフリカでは最大規模のモスクとなる。

2. 外交

● セラル首相のキューバ訪問

12日から14日にかけてセラル首相はラマムラ外務・国際協力大臣やブーディアフ保健・人口・医療改革大臣を帯同の上キューバを公式訪問し、ラウル・カストロ国家評議会議長等政府高官と会談を行った。多くの国際的な課題に対し意見を共にする両国が協力を更に促進することをハイレベルで約束し、保健や高等教育に関する8件の協定に署名した。また、セラル首相はフィデル・カストロ前キューバ国家評議会議長とも会談を行った。

● パリ協定の批准

アルジェリアは、13日付大統領令をもって、COP21（第21回国連気候変動枠組条約締約国会議）で採択されたパリ協定を批准した。

● セラル首相のアフリカ連合臨時首脳会合への出席

セラル首相は、15日にトーゴ・ロメにて開催された、アフリカの海洋安全保障、海上安全及び開発に関するアフリカ連合（AU）臨時首脳会合にブーテフリカの名代として、ラマムラ外務・国際協力大臣を帯同の上参加した。セラル首相は、同会合においてアルジェリアが安全保障や海上安全等におけるアフリカの協力強化に向けたアルジェリアのコミットメントを強調した。また、同会合の-marginでは、セラル首相は、ケイタ・マリ大統領、サル・セネガル大統領、ケニヤッタ・ケニア大統領及びガーリ「サハラ・アラブ民主共和国」大統領と会談した。

● メガワティ元インドネシア大統領のアルジェリア訪問

20日からメガワティ元インドネシア大統領はアルジェリアを5日間に亘って訪問し、ブーテフリカ大統領と経済、文化、社会等様々な分野に関する実り多い議論を行った。また、メガワティ元大統領は20日のアルジェ・オペラ除幕式にも参加した他、ザイヤーン朝の首都であった西部トレムセン県を訪問し、遺跡を視察した。

3. 治安

● スキクダ県におけるテロ事件

8日、スキクダ県において、軍車列の通過の際、複数の手製爆弾が爆発したが死傷者はなかった。この事件に関しISILが犯行声明を発出した。

● コンスタンティーヌ県におけるテロ事件

28日午後7時30分頃、コンスタンティーン県コンスタンティーン地区北東部の飲食店において、夕食中の警察官1名が店内に乱入した武装3人組に銃で殺害された。被害者は現場近くの警察署に勤務する巡査長（43歳）であり、目撃者証言によると、犯人は被害者の武器を奪って逃走した。ISILが犯行声明を発出したことにより、治安当局が有力視していたISIL系グループ「グラバー旅団」による犯行と見られているが、過去に自分の兄弟を殺害されたことに対する報復との見方の方が強い。

4. 経済

● 2017年予算法案が閣議で可決

4日、2017年予算法案が閣議で承認された。同法案において、歳入が5兆6,356億1,400万DA（石油収入が2兆2,001億2,000万DA、税収が3兆4,354億9,400万DA）、歳出が6兆8,832億1,600万DA（義務的経費が4兆5,918億4,200万DA、投資的経費が2兆2,913億7,400万DA）。財政赤字は3兆6,619億8,500万DAとなっており、対前年比で4,252億1,500万DA増となっている（2016年予算法は3兆2,367億7,000万DA）。今後同法案は両院で審議され、本年末に大統領によって承認される見込みである。

● 第10回アルジェ産業国際展示会の開催

3日から6日にかけて、当地にて第10回アルジェ産業国際展示会が開催された。アルジェリア企業BATIMATEC、仏プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール商工会議所（CCI-PACE）及び在アルジェリア仏企業開発ビジネスクラブ（CADEFA）により企画された本展示会には、アルジェリアの産業グループや多くの中小企業のみならず、フランス、中国、トルコ及びチュニジアの企業も参加した。

● JACモーターズ組み立て工場設立

昨年12月、JACモーターズ（中国企業）が15か月以内にアイン・テムシエント県のタマズーラ工業地帯に自動車組立工場（34ヘクタール）を建設することをSarl Emin Autoの代表に約束し、約82億ディナールの投資が決定された。同工場は年間1万台の組立を予定しており、2027年には10万台の組立を予定している。現在は工場建設に向けた最終段階にあり、2017年2月に最初のモデルを組み立てることに始まり、当面はJAC1040S（軽トラック）等二種類を組み立て、将来的にはJACの全車種を組み立てることになる。同工場は、2017年第一四半期末までに従業員270人をもって稼

働し、2020年には従業員は450人となる。

● 2017年度版「ビジネス環境の現状(Doing Business 2017)」報告書

25日、世銀は2017年度版「ビジネス環境の現状(Doing Business 2017)」報告書を発表した。前回の報告書において、アルジェリアは調査対象国189か国中163位であったが、今回の報告書においては190か国中156位で前回よりも7位ランクが上がった(47.76ポイント)。

5. 我が国との関係

● 核禁止を求めた署名の提出

6日、ブカドゥム・アルジェリア国連常駐代表は、ニューヨークにて日本原水爆被害者団体協議会から核廃絶を求める56万人分の署名の提出を受けた。アルジェリアは、国連第一委員会の議長を務めており、被爆者の強靱な精神及び被爆者により体现されてきた希望に敬意を表するとともに核廃絶に向けた被爆者の取り組みに感謝の意を表した。

● 大使レターの掲載

20日、当地エクスペリオン紙(独立系)は、藤原駐アルジェリア日本国大使が当地財政官学界及びメディア等のオピニオンリーダーに対して発出したTICADVIに関する大使レターを掲載した(当館HP参照)。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月5日	フランス	ルー法務・国璽大臣	ウルヴォアス国璽尚書・司法大臣と会談等
10月6日	アメリカ	ババ・アミ財務大臣	IMF・世銀年次会合に出席
10月9日	エジプト	ウルドゥ・ケリファ国民議会議長	国会設立150周年記念式典に出席
10月12日	キューバ	セラル首相、ラマムラ外務・国際協力大臣、ブーディアフ保健・人口・医療改革大臣	カストロ国家評議会議長兼閣僚評議会議長、ベルムデス国家評議会第1副議長兼閣僚評議会第1副議長と会談等

10月15日	トーゴ	セラル首相、ラマムラ外務・国際協力大臣	AU臨時首脳会合に出席
10月17日	ニジェール	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第9回リビア隣国会合に出席
10月24日	スウェーデン	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	ダームベリ産業・イノベーション大臣と会談等
10月27日	フランス	ラマムラ外務・国際協力大臣	第13回5+5閣僚級対話に出席
10月30日	ラトビア	ラマムラ外務・国際協力大臣	リンケヴィクス外務大臣と会談等
10月30日	カタール	ベドゥイ内務・地方自治大臣、ハメル警察庁長官	ドーハ情報システムセンター訪問等

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月1日	ルーマニア	ヴァカロイウ会計検査院長（前首相）	ルー法務・国璽大臣と会談等
10月3日	リビア	エル・セラジ大統領評議会議長、シヤラ外務大臣	セラル首相、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
10月5日	イギリス	エルウッド中東・アフリカ担当大臣	セラル首相と会談等
10月9日	チュニジア	シャヘド首相	ブーテフリカ大統領、セラル首相と会談等
10月10日	カタール	アル・ガネム軍参謀総長	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
10月14日	国連	コブラー・リビア問題担当特使	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
10月16日	中国	銭商務部副部長	ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談等

10月18日	インド	アンサーリ副大統領	セラル首相、ウルドゥ・ケリファ国民議会議長と会談等
10月19日	フランス	ドゥ・ヴィリエ軍参謀総長	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
10月19日	スペイン	サンチェス軍参謀総長	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
10月21日	リビア	アル・アジタル軍参謀総長	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
10月22日	インドネシア	メガワティ元大統領	オペラハウス除幕式に出席、ブーテフリカ大統領、セラル首相と会談
10月23日	サウジアラビア	アル・ブジャン軍参謀総長	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談等
10月24日	スペイン	イバネス外務長官	セラル首相、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
10月24日	チュニジア	タイェブ農業大臣	シェルグム農業・地方開発・漁業大臣と会談等
10月26日	ニジェール	ラフィニ首相	国際図書見本市開幕式に出席、ブーテフリカ大統領、セラル首相、ラマムラ大臣と会談
10月26日	イラン	ハッサン保健大臣	ベンサラ国民評議会議長、ブーディアフ保健・人口・医療改革大臣と会談等

(了)